

河川砂防技術研究開発公募(地域課題分野)平成24年度採択テーマ 中間評価結果

テーマ名および概要		提案者名	評価	中間評価コメント
テーマ	釧路川流域における湿原再生に向けた栄養塩循環評価手法に関する研究	北見工業大学 駒井 克照	b	既存の研究結果を踏まえて、ハンノキの増加要因に関して、栄養塩供給量に加えて、砂堆積の乾燥化など他の要因も考慮して、現行のとおり進捗することが妥当と評価する。
概要	釧路川流域における湿原再生に向けた栄養塩循環の定量予測・評価のための現地調査、実験、および物質循環モデルの基礎モデル構築を行う。			
テーマ	北海道を対象とした局地的豪雨の予測手法の開発および突発的出水に対応したハザードマップの作成	北海道大学 山田 朋人	a	研究計画のとおり順調な進展がみられる。最終目標であるハザードマップの具体的なイメージを明確にして、現行のとおり進捗することが妥当と評価する。
概要	本研究はこれまで北海道で発生した豪雨形態の時空間的な特徴の解明、水文諸量の予測精度の向上、および突発型出水発生確率分布マップの作成を目的とする。			
テーマ	河道内樹林化に対応した流量観測技術の高度化・高効率化に関する研究	東京理科大学 二瓶 泰雄	b	樹林化した河道で流量観測を行う際の具体的な課題を明らかにすることに留意して、進捗することが妥当と評価する。
概要	本研究では、浮子や電波流速計による流速計測法とDIEX法を組み合わせ、樹林化に適した高精度・高効率性の河川流量観測技術を開発する。			
テーマ	雨量履歴・水位履歴を考慮した河川堤防の安定性のリアルタイム予測方法の開発と安全性向上に関する研究	名古屋工業大学 前田 健一	a	現地計測、実験、堤体内水分量の推定の試み等が適切に組み合わされており、順調な進展がみられる。現行のとおり進捗することが妥当と評価する。
概要	流域の安全性向上のため、堤防への浸透挙動に及ぼす雨量と水位の履歴の影響を明らかにし、堤防の安定性のリアルタイム予測を可能にする。			
テーマ	東南海地震による津波を想定した大分県番匠川流域の地域住民との合意形成に基づく防災対策の提案	大分工業高等専門学校 東野 誠	b	河川技術に資する具体的な成果、知見が得られるよう留意して、進捗することが妥当と評価する。
概要	東南海地震により津波が佐伯湾から番匠川河口に押し寄せた場合の番匠川流域でのハザードマップと防災対策を作成する。			

評価の凡例

- a:非常に優れた研究である。
- b:優れた研究である。
- c:条件付きで評価できる(研究計画の変更、研究費の減額)
- d:次年度の研究継続は認められない(研究の打ち切り)